株主の皆様へ

平成26年3月期 中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

JOT

日本石油輸送株式会社

証券コード：9074

～安全を仕事の中心に～

SAFETY 1st

自動車輸送　協力会社

鉄　道　輸　送

JOT グループ

複合一貫輸送

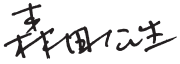
鉄道輸送・自動車輸送・海上輸送
多様な輸送モードを活用し、モーダルシフトを推進いたします。

自　動　車　輸　送

海上輸送　協力会社

顧客より信頼され選択される物流パートナーとして安全で高品質な輸送サービスを提供してまいります。

代表取締役社長



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第97期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）中間期の事業概況のご報告をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

さて、今後のわが国経済は、全体として回復基調にて推移するものと予想されますが、海外経済の下振れリスクに加え、原油・原材料価格の高騰や来春の消費税増税による影響も懸念されるなど、先行きに対する不透明感が払拭されない状況にあります。

当社グループを取り巻く物流業界におきましては、消費税増税を見越した需要等により、国内貨物輸送量の増加が見込まれているものの、本格的な回復には、なお時間を要するものと思われます。

このような状況のもと、当社グループは、国内石油製品需要の減少が続くなど、厳しい事業環境にあるなかで、鉄道輸送および自動車輸送をもつ企業グループの強みを最大限に生かし、顧客ニーズに迅速かつ的確な対応を図ってまいります。また、今後の成長に向け、新しい輸送容器の開発を推進し、市場への早期投入を図るとともに、本年10月より本格参入した化成品輸送における海外事業についても、事業拡大を図ってまいります。

こうした取り組みに加え、引き続き安全推進活動の強化や車両・コンテナの点検・整備体制の一層の充実を図り、顧客に対し安全・安心な輸送の提供に努めてまいります。

中間配当金につきましては、前中間期と同じく1株につき金3円とさせていただきました。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

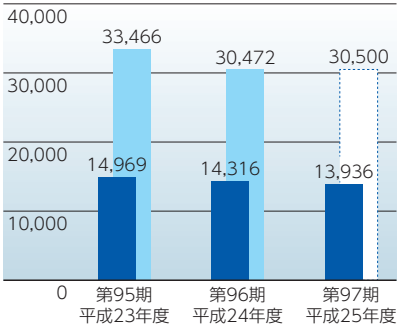
平成25年12月

第2四半期（中間期）決算の概況

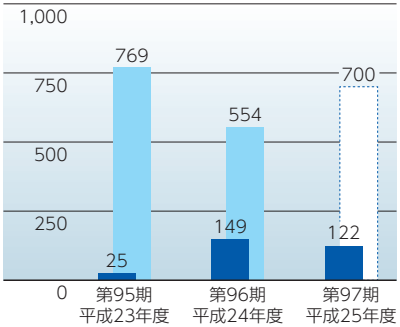
当社グループは、顧客から信頼され選択される物流パートナーとして、安全で高品質な輸送の提供に努めるなか、引き続き既存顧客との関係強化および新規顧客の開拓に向けた営業活動を展開し、輸送量の確保を図ってまいりました。また、新しい輸送容器の開発や化成品輸送における海外事業等の新規事業にも、積極的に取り組んでまいりました。

しかしながら、石油輸送事業における震災に対応した振替輸送の終了の影響等を受け、当第２四半期連結累計期間における売上高は13,936百万円（前年同期比2.7％減）となり、営業利益は122百万円（同17.8％減）、経常利益は293百万円（同2.5％減）、四半期純利益は215百万円（同7.5％減）となりました。

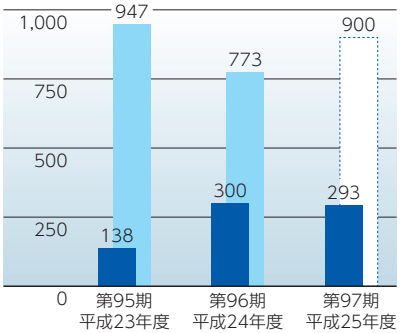
売上高　（単位：百万円）



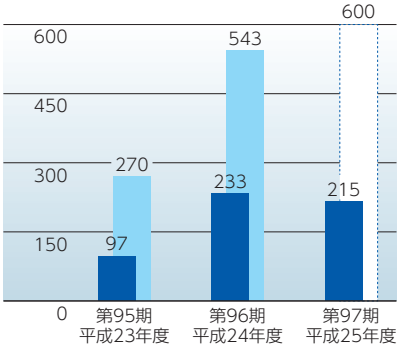
営業利益　（単位：百万円）



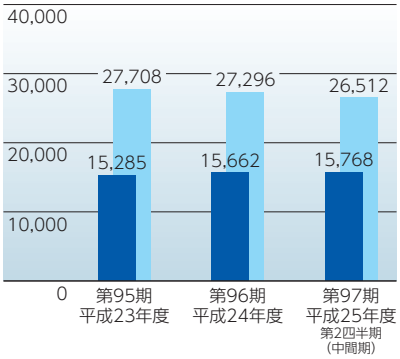
経常利益　（単位：百万円）



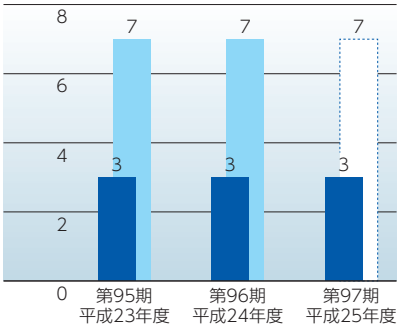
四半期（当期）純利益　（単位：百万円）



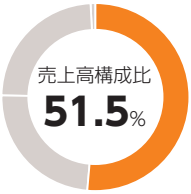
総資産・純資産　（単位：百万円）



1株当たり配当金　（単位：円）



セグメント別の概況

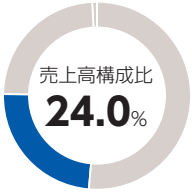


石油輸送事業

売 上 高	7,174百万円
営業利益	3百万円

石油輸送事業につきましては、震災に対応した振替輸送が前年9月に終了したことや北海道地区における油槽所の閉鎖等の影響もあり、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は7,174百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

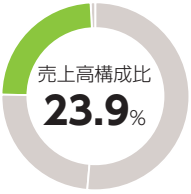


高圧ガス輸送事業

売 上 高	3,350百万円
営業利益	△59百万円

高圧ガス輸送事業につきましては、LNG（液化天然ガス）輸送において、夏季における発電用の需要増や前年度下期に開始した産業用の新規輸送による増加があったものの、LPG（液化石油ガス）輸送の需要減もあり、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,350百万円（前年同期比0.3%減）となりました。



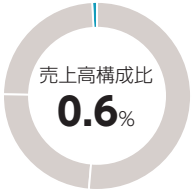
化成品・コンテナ輸送事業

売 上 高	3,328百万円
営業利益	153百万円

化成品輸送事業につきましては、石油化学製品の国内需要が伸び悩むなかで、全体的な輸送量の減少に加え、既存リース物件の返還等による減収が響き、売上高は減少いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、台風、大雨等の自然災害や北海道地区の脱線事故により、貨物列車の運休が多数発生した影響を受け、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,328百万円（前年同期比4.4%減）となりました。



その他事業

売 上 高	83百万円
営業利益	24百万円

平成25年3月より新規参入した太陽光発電事業につきましては、好天に恵まれ順調に稼動しており、当事業における売上高は83百万円となりました。

TOPICS

環境にやさしいエコな輸送を目指して

～さらに軽くなった冷蔵コンテナについて～

当社はお客様の多様なニーズに応えるべく、様々なタイプの鉄道輸送用コンテナを開発・運用してまいりましたが、このたび、保冷性能を維持しつつ70kgの軽量化を実現した冷蔵コンテナを開発し、平成25年９月より投入を始め、10月からは300個体制での運用を開始しております。

このコンテナのデザインは、既存の冷蔵コンテナの帯色（赤・青・緑）ではなく、新たに「チェリーレッド」色を取り入れました。加えて、デザイン面では、フワフワと空に浮き上がる様子が「軽さ」を連想させる「シャボン玉」のマークを採用し、大小色とりどりの配色とすることで、見た目にも鮮やかに、明るく、親しみやすい印象に仕上げました。

軽量化の実現は輸送時の燃費向上に繋がり、資材削減による環境負荷の低減にも貢献できるなど、お客様からご好評をいただいており、今後の冷蔵コンテナの主力として活躍が期待されます。

JOTグループでは、今後とも、お客様の多様なニーズに応えるとともに、より環境にやさしいエコな輸送の実現を目指し、新たな輸送容器の開発を推進してまいります。

お客様から求められる輸送の提供を

～袖ヶ浦における鉄道タンク車輸送の復活～

当社は、富士石油株式会社袖ケ浦製油所から出荷される石油製品の鉄道タンク車輸送再開に合わせ、平成25年４月１日付にて袖ヶ浦営業所を開設しました。

袖ヶ浦営業所は、平成20年３月末の鉄道タンク車による出荷終了に伴い、一度は閉鎖となりました。しかしながら、東日本大震災を契機に、有事に備えた供給元のリスク分散を目的として、当社の鉄道タンク車を使用した輸送方式が再び採用される運びとなりました。

このたびの再開は、石油製品の輸送に関して蓄積した当社の経験・ノウハウが評価されたものであり、また、お客様と築き上げてきた信頼関係の賜物であると考えております。

出荷初日には「タンク車出発式」が行われ、関係者の拍手や歓声に包まれるなか、一番列車が出発していきました。

JOTグループでは、多数のお客様からの輸送業務を受託しておりますが、今後とも、「求められる」輸送サービスの提供に向け、日々の安全運行、安定供給に努めてまいります。

第2四半期(中間期)連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科　目	当第2四半期(中間期)(平成25年9月30日現在)	前第2四半期(中間期)(平成24年9月30日現在)	前　期(平成25年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	**3,963**	**4,255**	**4,238**
現金及び預金	589	682	373
受取手形及び売掛金	2,777	2,837	3,258
その他	596	735	607
固定資産	**22,548**	**21,655**	**23,057**
有形固定資産	**17,511**	**17,286**	**18,117**
機械装置及び運搬具	5,125	4,506	5,440
コンテナ	2,183	2,479	2,263
土地	5,102	5,156	5,111
リース資産	3,309	3,675	3,533
その他	1,789	1,469	1,768
投資その他の資産	**5,037**	**4,368**	**4,939**
投資有価証券	4,088	3,388	3,996
その他	949	980	943
資産合計	**26,512**	**25,911**	**27,296**

(単位:百万円)

科　目	当第2四半期(中間期)(平成25年9月30日現在)	前第2四半期(中間期)(平成24年9月30日現在)	前　期(平成25年3月31日現在)
負債の部			
流動負債	**5,196**	**5,349**	**5,918**
支払手形及び買掛金	1,430	1,372	1,747
短期借入金	651	489	1,076
未払法人税等	184	248	109
賞与引当金	548	536	556
役員賞与引当金	41	48	96
その他	2,340	2,653	2,331
固定負債	**5,547**	**5,541**	**5,716**
リース債務	2,297	2,454	2,393
退職給付引当金	2,478	2,532	2,507
修繕引当金	235	224	279
その他	535	329	535
負債合計	**10,743**	**10,891**	**11,634**
純資産の部			
株主資本	**15,000**	**14,706**	**14,917**
資本金	1,661	1,661	1,661
資本剰余金	290	290	290
利益剰余金	13,079	12,785	12,996
自己株式	△ 31	△ 30	△ 30
その他の包括利益累計額	**767**	**313**	**744**
その他有価証券評価差額金	767	313	744
純資産合計	**15,768**	**15,020**	**15,662**
負債・純資産合計	**26,512**	**25,911**	**27,296**

第2四半期(中間期)連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科　目	当第2四半期(中間期) (自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日)	前第2四半期(中間期) (自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日)	前　期 (自 平成24年4月 1日 至 平成25年3月31日)
売上高	13,936	14,316	30,472
売上原価	12,813	13,169	27,905
売上総利益	1,122	1,147	2,567
販売費及び一般管理費	1,000	998	2,013
営業利益	122	149	554
営業外収益	270	271	480
受取配当金	42	46	99
固定資産賃貸料	113	116	225
その他	114	109	154
営業外費用	99	119	260
支払利息	40	48	95
固定資産賃貸費用	36	44	93
その他	21	26	72
経常利益	293	300	773
特別利益	166	152	245
特別損失	78	24	132
税金等調整前四半期(当期)純利益	381	428	886
法人税等	165	195	342
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	215	233	543
少数株主利益	—	—	—
四半期(当期)純利益	215	233	543

第2四半期(中間期)連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科　目	当第2四半期(中間期) (自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日)	前第2四半期(中間期) (自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日)	前　期 (自 平成24年4月 1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,537	1,244	3,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 139	△ 612	△ 3,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,182	△ 841	△ 1,020
現金及び現金同等物の増減額	216	△ 209	△ 518
現金及び現金同等物の期首残高	373	892	892
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	589	682	373

株式の状況／JOTグループ（平成25年9月30日現在）

株式の状況

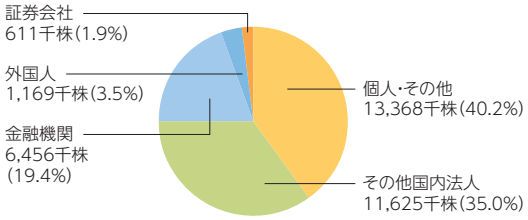
発行可能株式総数	60,000,000 株
発行済株式の総数	33,229,350 株 （自己株式102,400株を含む）
株主数	4,241 名

大株主

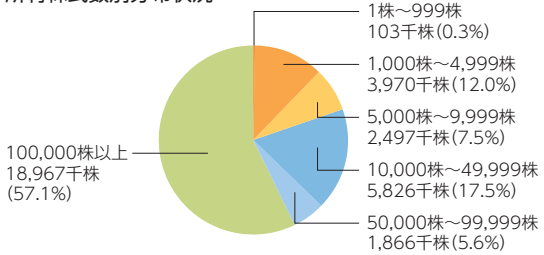
株　主　名	持株数（千株）	持株比率（%）
JXホールディングス株式会社	9,644	29.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	1,273	3.84
株式会社三井住友銀行	788	2.38
日本車輌製造株式会社	669	2.02
シービーエヌワイ デイエフエイ インターナショナル スモール キャップ バリュー ポートフォリオ	576	1.74
株式会社損害保険ジャパン	438	1.32
三井住友信託銀行株式会社	435	1.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	433	1.31
日本石油輸送グループ従業員持株会	425	1.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	420	1.27

株式の分布

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



JOTグループ

株式会社エネックス

石油製品・高圧ガス等の貨物自動車輸送、
石油コンビナートの防災業務

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号
TEL：03-5759-6701（代表）

近畿石油輸送株式会社

石油製品・高圧ガス等の
貨物自動車輸送

〒510-8002 三重県四日市市天カ須賀新町1番地20
TEL：059-363-2500（代表）

株式会社ニチユ

産業機材、車両等の販売および賃貸、
保険代理業

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号
TEL:03-6417-9591（代表）

株式会社ニュージェイズ

石油化学製品等の貨物自動車輸送、
自動車整備事業

〒510-0958 三重県四日市市小古曽三丁目2番15号
TEL：059-349-1800（代表）

株式会社JKトランス

石油製品・石油化学製品等の
貨物自動車輸送

〒210-0856 川崎市川崎区田辺新田1番5号
TEL：044-328-6625（代表）

会社概要

商号	日本石油輸送株式会社
設立	昭和21年（1946年）3月27日
本社所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 （ゲートシティ大崎　ウエストタワー16階） TEL：03-5496-7671（代表）
資本金	16億61百万円
従業員数	連結1,321名、単体162名
主要取引銀行	㈱三井住友銀行、㈱三菱東京UFJ銀行、 ㈱みずほ銀行
主要な事業所	北海道支店（札幌）・東北支店（仙台）・ 関東支店（川崎）・中部支店（四日市）・ 関西支店（大阪）・九州支店（福岡）および 新潟事業所
主要な事業内容	1. 石油製品（ガソリン・灯油等）の鉄道タンク車輸送・貨物自動車輸送 2. 高圧ガス（ＬＮＧ等）の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送および複合一貫輸送 3. 石油化学製品等の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送および複合一貫輸送、各種コンテナのリース 4. 鉄道用冷蔵・冷凍コンテナ等のレンタル・リース 5. 太陽光発電事業
車両の状況	石油タンク車等　1,366両　（60,285t）
コンテナの状況	ＬＮＧコンテナ　144個　（1,568t） 化成品コンテナ　6,273個　（73,365t） 冷蔵・冷凍等コンテナ　8,105個　（41,839t）

ホームページのご案内

当社ではホームページにて様々な会社情報を発信しています。当社の営業内容や会社概要のほか、当社のタンク車やコンテナを題材に一般の方が撮影された写真を集めた「JOTギャラリー」もございます。

また、「IR情報」では、過去の決算短信等も掲載しています。

http://www.jot.co.jp/

役　員

取締役

代表取締役会長		栗本　透
代表取締役社長 社長執行役員		森田　公生
取締役 専務執行役員	営業部門管掌	畑　義昭
取締役 常務執行役員	経理部、情報システム部管掌	天野　喜司
取締役		木村　康
取締役		大橋　康利
取締役 執行役員	総務部、人事部管掌　人事部長	戸井田俊明
取締役 執行役員	技術部管掌　技術部長	吉田　秀穂
取締役 執行役員	石油部、グループ安全推進部管掌 石油部長兼グループ安全推進部長	原　昌一郎
取締役 執行役員	関東支店長	髙橋　文弥

監査役

常勤監査役		佐藤　驍
監査役		赤井　文彌
監査役		原島　正之
監査役		野口　勝彦

（注）監査役のうち赤井文彌氏および原島正之氏は、社外監査役であります。

取締役を兼務しない執行役員

執行役員	化成品部長	青野　滋
執行役員	LNG部長	田長丸雅司
執行役員	石油部部長	竹本　明彦

単元未満株式のお取扱いについて

単元未満株式とは、当社株式の売買単位である1単元（1,000株）未満（1～999株）の株式のことであり、市場での売買ができませんが、そのお取扱いには、以下の方法がありますので、ご案内いたします。

1.買取制度

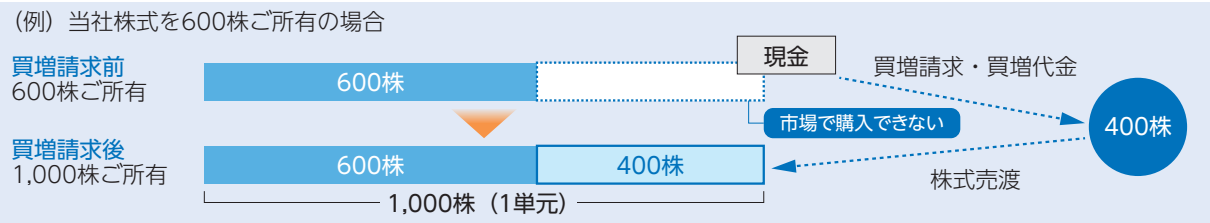
ご所有の単元未満株式は、当社に対し買取（現金化）の請求をすることができます。

（例）当社株式を1,200株ご所有の場合

2.買増制度

ご所有の単元未満株式の数とあわせ、当社に対し1単元（1,000株）になる数の株式の買増を請求することができます。

（例）当社株式を600株ご所有の場合



お手続きの詳細につきましては、株主様の口座のある証券会社等または株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお問合せください。なお、当社では買取請求および買増請求にかかる**手数料を無料**とさせていただいておりますが、証券会社等の口座管理機関へ支払う手数料につきましては、株主様の口座のある証券会社等へご確認ください。

【株主名簿管理人　三井住友信託銀行】

- 電話［フリーダイヤル］　**0120-782-031**（平日9：00～17：00）
- ホームページアドレス　**http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html**
- 郵便物送付先　**〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号**
  三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

日本石油輸送株式会社

〒141-0032
東京都品川区大崎一丁目11番1号（ゲートシティ大崎　ウエストタワー16階）
TEL:03-5496-7671（代表）

http://www.jot.co.jp/

この冊子は、適切に管理された森林から生まれたFSC®認証紙、植物油インキおよび有害な廃液の出ない水なし印刷で印刷しています。